

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.5 4

2010.2.8

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

9条をまもる岩手の会 発足5周年記念講演

## 今こそ『憲法の力』をつけよう！ 伊藤 真さん講演

2010年1月16日(土)盛岡市「サンビル」にて、200名以上が参加し平和憲法9条をまもる岩手の会発足5周年学習・活動交流会が開催されました。

午前中に行われた記念講演では、学生時代に弁護士資格を取り、弁護士を  
するかわら伊藤塾塾長として後進の指導にあたり、また、その憲法に対する  
熱い思いを執筆、多くの本を出すなど、日本国憲法の理念を伝える伝道師  
として活躍している伊藤真さんを講師に迎え、「今こそ憲法の力をつけよう！」  
と題して講演いただきました。

伊藤さんは、講演に先立ち9条の会発足5周年に、この憲法を守れという  
取り組みは、立ち上げることに続けていく事が大変なことだと話されました。  
それは、憲法を変えようとする勢力はある一瞬に力を集中すればいい  
のに対して、守る側は世代も超えて取り組み続けなくてはならないからで、  
講演を聞きに来た方々に今後とも頑張り続けてほしいと激励するものでした。

講演では、憲法の根底には徹底した人間性の尊重を掲げている。それは、物や道具のように役に立つから価値があるのではなく、そこに居るだけで価値があり、どんな凶悪犯にでも有るかけがえのないものだとして強調しました。

しかしながら伊藤さんは、一人ひとりの思想・信条・政党の自由を認めながらも一つだけは譲れないものがあると言いき、それは“いかなる戦争もしてはならない”という事であるとの事でした。

この話をすると、正しい戦争・正義の為の戦争があるのではないかという意見が出されるのだが、目的が正しくても手段を戦争とする事は有ってはならない事で、その考え方を明記したのが9条であり、目指すべきものとして守らなければならないものだと思っている。

その昔、アメリカなどで奴隷制度反対を唱えた者は非常識だと言われていたが、今はそれが当たり前になっている。人類は進歩するもので世の中は変わるもの、理想に向かって一步一步進む事が大事で、目標を現実に近付ける必要は全く無いものであると話し、理想を語り続けてほしいと話されました。

また、民主主義というものは国民の総意(多数決)で決めるものだが、それ自体が一時の感情やマスコミの報道に左右されやすいものであると指摘し、普段「戦争反対!」と言っていたのにいざ肉親が殺されると「報復を!」とならない様、よく学び、そういったものに流されない自分そして世の中を作る事が大切だと話されました。

そして最後に、伊藤さんは「憲法を知った人は、よく知らない周りの人に教え広げる義務がある」と話され、少なくとも今日の私の講演を聞いた方は憲法を知ってしまったはず。憲法を話題にして、立憲(立憲民主)主義の考え方を周りや次の世代に伝えてほしいと話されました。

午後の交流会は裏面



2月・3月の「9の日」街宣署名行動はお休みし、4月から再開予定です。各地域での取り組みを行いましょう。

9条をまもる岩手の会 発足5周年記念集会(午後の部)

# 会員の知恵や趣味を活かした活動を

## 活動交流会

午後の活動交流会では、はじめに3つの会が報告。

一関九条の会の斉藤さんは「憲法を語る活動に終わりはないと感じている」と述べ、医者、弁護士、住職、牧師など幅広い会員で、知恵や趣味を活かした活動を報告。好評を得た憲法前文の暗唱大会、映画館での上映会や平和美術展の経験を紹介し、「幅広く案内し、参加した人に入会を勧めている」と述べました。



釜石・大槌九条の会の金崎さんは、艦砲戦災体験の話を聞きに県内外から訪れており、市に要望し続けてきた記念館の設立も動き始めたことを紹介。「戦災体験集も発行し、継続していきたい」と述べました。

みやぎ憲法九条の会の佐藤さんは、賛同者8,700名、呼びかけ人211名、世話人会や事務局会議など会の運営と、県内交流会やつどい、ブックレットの発行、戦時体験の収集など活動を報告。県内の九条の会も114になり、一昨年に発足した「首長の会」では、他県の首長への働きかけや交流の活動も紹介しました。

その後会場から、宗教者、花巻、松園、都南、紫波、北上の各九条の会から発言があり、講演会や映画上映会を地域に広く呼びかけて取り組んでいる様子などが報告されました。

また、盛岡大、岩手大の生協学生委員会からも、戦争体験を聞くとりくみやキャンドルナイトの企画が紹介され、「みんなに考えてもらうためにアクションを起こしていきたい」と発言がありました。

### 平和映画上映とトーク



# 知ってほしいか? 65年前のこと

~新日本婦人の会  
盛岡支部~

世界で唯一被爆した国の女性として、広島・長崎が被爆した事を知らない子供たちが増えている中で、事実を知り若い人たちと語り合い一緒に行動できることを見出したいと企画しました。

とき; 3月20日(土) 13:30~15:35

ところ; おでってホール 参加無料

- ・ドキュメンタリー映画「ヒロシマ母たちの祈り」上映
- ・被爆者の兄を持つ高橋ヨシ子さんの講演と、学生・若者・母親の立場からのトーク
- ・会場ロビーで「いわさきちひろ」平和パネル展を同時展示

ぜひ来てください

## 戦争体験集 私の八月十五日 —終戦記念日に思う—

釜石市平和委員会は、太平洋戦争開始68周年となる昨年12月8日に戦争体験集(第一集)を発行しました。県内外29名の戦争体験の寄稿・聞き書きがまとめられています。釜石は昭和20年7月14日と8月9日の二度にわたり艦砲射撃を受けました。その実相を正しく伝えるため、平和委員会では市に戦災資料館の建設を求める運動も2004年から展開しており、体験集の販売代金の一部は資料館建設の費用にあてられます。



\*お問い合わせは「9条をまもる岩手の会」事務局(表面右上)まで **募金分含み1,000円・A5版123頁**